

中学校の「情緒障害等通級指導学級」が 「特別支援教室」に変わります

～令和3年度から全区立中学校で特別支援教室（サポートルーム）での指導を開始します～

教員が各校のサポートルームを巡回して指導することで、今まで通級指導学級で行ってきた特別な指導（学習上又は生活上の困難を改善・克服する指導）を生徒が在籍校で受けられるようにするものです。

大田区では平成28年度までに全区立小学校に設置しました。小学校に引き続き、中学校でも、令和元年度に7中学校でモデル実施し、その状況を踏まえて令和3年度までに全ての区立中学校に設置する予定です。

これによって、困難さを抱える生徒が在籍校で特別な指導を受けられるようになります。

通級指導学級

通級指導学級設置校に生徒が通級し、指導を受ける



【他校通級における主な課題】

- ・他校への移動の時間に在籍学級の指導を受けられない。
- ・他校に移動する際の生徒の負担がある。
- ・他校での指導となるため、通級指導担当教員と在籍校の学級担任や教科担任等との連携が図りにくい。

特別支援教室

全ての公立中学校にサポートルームを設置し、教員が巡回指導



【サポートルーム導入で期待される効果】

- ・巡回指導教員が、在籍学級担任や教科担任等と共通理解を持ち指導することで、在籍校で生徒の特性に応じた適切な指導を実施できるようになり、学習能力の向上や集団適応能力の伸長が図られる。
- ・巡回指導教員や在籍学級担任等が、臨床発達心理士等の専門家の意見を踏まえた指導等を行うことで、生徒は将来の自己イメージを持ち、進路や将来を見据えた展望を持てるようになる。
- ・巡回指導教員や臨床発達心理士等の専門家が在籍学級における生徒の行動観察を行うことで、個々のニーズに応じた早期からの適切な支援が可能となる。

中学校に特別支援教室(サポートルーム)が導入されるとどうなりますか？

Q1

サポートルームが導入されると指導を受けられる時間はどうなりますか？
また、在籍校以外で指導を受けることは可能ですか？

A1

これまでどおり、対象生徒の特性等の的確な把握に基づいた必要な指導時間数の指導を受けることができます。指導を進める中で、指導目標の達成度合いを定期的に評価し、困難さの改善が見られた場合には、指導時数の見直しや指導終了により次のステップにつなげます。

また、在籍校の特別支援教室で指導を受けることが基本になりますが、生徒本人の事情や指導上の必要により在籍校以外で指導を受ける方が効果的な生徒は、例外的に拠点校等で指導を受けることも可能です。学校及び区教育委員会と御相談ください。

Q2

全中学校でサポートルームが実施されると、グループはどのように分かれませんか？
巡回指導教員は、週何日、巡回指導に来ますか？

A2

令和2年度は既の実施している大森十中グループ7校に加え、東蒲中を拠点とする7校（拠点校1校・巡回校6校）で新たに実施します。令和3年度の全校実施では、残る御園中及び大森二中を拠点とするグループでも実施します。また、巡回する日数は、指導する生徒数や時間数等に応じて、グループ内の校長の合議で決定します。

Q3

サポートルームになると指導内容が変わりますか？

A3

生徒の特性に応じてこれまでも通級指導学級で実施している「自立活動」の指導を在籍校で受けられるようにするもので、通級指導学級とサポートルームで指導内容が変わるものではありません。

また、指導の目的は、生徒の学習上・生活上の困難さの改善によって、可能な限り多くの時間、在籍学級で他の生徒とともに学校生活を送ることです。在籍校で実施することで、巡回指導教員と在籍学級担任や教科担任等との連携が緊密になり、指導内容の充実を図ることが期待できます。

なお、単に学習の遅れを取り戻すための指導を行うものではありません。

Q4

小学校でもサポートルームで指導を受けていましたが、中学校でも継続して指導を受けることができますか？

A4

小学校のサポートルームでの指導の経過から、中学校入学当初からサポートルームでの指導を開始することで円滑に中学校への進学が果たせることが見込まれる場合は、入学当初からの継続指導を検討します。保護者からの申し出に基づき、大田区教育委員会は、小学校における指導の経過や評価、児童の行動観察等を基に就学相談を行い、中学校でのサポートルームの利用の適否を決定します。

特別支援教育の充実には、保護者の理解が重要となります

生徒一人一人の生活上や学習上の困難を改善するためには、サポートルームでの特別な指導だけでなく、在籍学級や家庭と連携した継続的な指導が重要です。

このため、保護者の皆様にも特別支援教室の導入と運営について理解を深めていただき、教職員と連携して、特別支援教育の充実を図っていくことが大切です。